

## CONTENTS

◆◆ p. 02 JCSSA Activity Report  
新入社員セミナー

◆◆ p. 03 SPECIAL REPORT  
SAJ × JCSSA 共催  
第 157 回アライアンスビジネス交流会  
第 1 回新会員歓迎懇親会  
2024 年度 JCSSA 管理職研修（前半）  
第 4 回中部交流会

◆◆ p. 04 SPECIAL REPORT  
セキュリティエバンジェリストパネルディスカッション

◆◆ p. 05 SPECIAL REPORT  
サマーセミナー

◆◆ p. 06 New Member!  
新会員紹介

◆◆ p. 07 JCSSA INFORMATION  
JCSSA のイベント

◆◆ p. 08 JCSSA INFORMATION  
理事のオフショット  
事務所のご案内

2024 年 7 月 22 日

【発行】日本コンピュータシステム販売店協会広報委員会  
【発行人】田辺 正昭  
【編集人】窪田 大介  
【編集長】小山 敏之  
【制作】株式会社BCN

## 会長挨拶

### 価値向上の一年に

一般社団法人  
日本コンピュータシステム販売店協会  
会長 **林 宗治**



JCSSAの会員数は2024年3月末で413社となり、500社の目標も見えてまいりました。また、この1年で地方での活動実績も増えました。北海道・大阪・名古屋と各地で懇親イベントを実施したところ大変好評で、新会員の獲得にもつながっています。

6月からの新しい体制がスタートしました。JCSSA内でも女性理事の比率を高めようと努めており、現在55名の理事のうち6名が女性となりました。加えて、今年度からすべての理事が委員会の委員長もしくは副委員長を務めることも決め、各理事に活躍を促すこととしました。

次に目指すのは、理事の所属企業以外の方々による委員会への参加の拡大です。私たちの団体は数々のセミナーで知識を得ることができますし、懇親の機会も多くあります。昨年度の実績では、各委員会合計で延べ143回のミーティングやセミナーを実施しました。パーティーとオンラインセミナーの視聴だけでは、JCSSAを味わいつくすことはできません。ぜひ、委員会活動で交流して絆を作っていただきたいと思います。この絆こそ、みなさまの価値につながります。

私たち事務局も自らの価値を上げるべく、昭和な雰囲気のある雑居ビルを去り、丸の内パシフィックセンチュリープレイスに入居いたしました。胸を張って丸の内勤務と言えるようになりました。

みなさまとともに、JCSSAの価値を上げる一年にしていきたいと思います。

# JCSSA Activity Report

## 新入社員セミナー

April

4月

## 会員企業の新入社員1782名を激励



パンネーションズ・コンサルティング・グループ  
代表取締役 安田 正 氏

「自分の強みを具体的に伝えられるように」



日本ヒューレット・パッカード  
代表執行役員社長 望月弘一 氏

「大きな夢を持ち、学び続ける」

### コミュニケーションの大切さ

4月16日、会員企業向けに2024年度の「新入社員セミナー」を開催した。開催場所は東京の文京シビックホール・大ホールで、47社から1782名が参加した。

まず、JCSSAの林宗治会長が冒頭あいさつで、協会の活動内容などについて紹介。今後新入社員が成長し、外部と協力する必要が出てきたとき、JCSSAで新たな仲間がつかれるとした。その上で、「皆さんをわれわれの業界に迎えられたことと、数ある業界の中からIT業界を選択してくれたことを本当に嬉しく思う」と述べ、新入社員を歓迎した。

セミナーでは、JCSSA会員の一社で、企業向けにさまざまな研修サービスを提供するパンネーションズ・コンサルティング・グループの代表取締役を務める安田正氏が、「コミュニケーションの重要性」と題し、社会人として重要なコミュニケーション方法などについて、セミナーに参加した新入社員による実践も交えながら講演した。

社会人として成功するためには、「自分の強みをスキルとして落とし込む」「コミュニケーション力が高く、自分を応援してくれる人が多い」という二つの力を持つことが重要だとした。人は誰しもが強みを持っているが、「持っているだけで終わってしまえば、周りの人に全く通用しない」と指摘。強みを具体的な行動や考え方に落とし込み、他人に伝えられるようになることが大切という。自分の強みを理解するための方法として、コミュニケーションの領域に特化した性格診断ができる診断プログラム「search Me」を紹介した。

続けて、コミュニケーション力についても説明。営業の場面では、「好ましいと感じる人から聞いた情報は肯定的になる」ため、人と関係を築く上では、好ましい人間だと思ってもらうことが重要だとした。人は、出会った相手を最初の2秒で判断するといひ、好ましい人物と感じてもらいやすくするためには、にこやかな表情や誠実な話し方な

ども効果的だという。安田氏は最後に、「失敗しても成功しても、（それらの経験は）皆さんの人生の大きな財産になる」と語りかけた。

### 社会人生活で得た学びを共有

続いて、日本ヒューレット・パッカード（HPE）代表執行役員社長の望月弘一氏が「これからの社会をリードする皆さんへのエール」と題して講演した。まずHPEについて紹介し、「幅広いテクノロジーを、時代が期待する格好で提供することに注力しながら、持続可能な社会の実現に向けて大きな力点を置いているという会社だと理解してほしい」とした。

続けて、自身の社会人生活の中で得た学びとして、「一番を目指し、そのために努力と創意工夫をする」「言語や文化など、多様性を受け入れて相手を理解し合う」「今の自分の立場から物事を考えるのではなく、自分より一つや二つ上の立場から考える癖をつける」などを挙げた。これらの経験を踏まえて、日頃から大切にしている五つの信条「顧客、パートナーファーストの精神」「コミュニケーション」「コラボレーション」「人」「ダイバーシティ」を共有し、それぞれに込められたメッセージを訴えかけた。

最後に、新入社員に対する三つの期待を明かした。一つめは「be ambitious」。大きな夢を持ち、現状と夢の間の差を埋めるために努力してほしいという。二つめは「貪欲に学ぶこと」で、学びの機会は随所にあるとした。三つめは「ネットワーク」。人と人がつながり、理解し合い、人脈を大切にしてほしいと求めた。「皆さんの可能性は無限大だ。ぜひ、大きな夢を持って、貪欲に学習し続け、人脈を大切に素晴らしい社会人生活を楽しんでほしい。IT業界は狭い。いつかどこかで皆さんと協業し、一緒にできる日が来ることをとても楽しみにしている」と締めくくった。望月氏への質疑応答の時間も設けられ、新入社員からはさまざまな質問が飛び交った。

# JCSSA Activity Report

## SAJ × JCSSA共催 第156回アライアンスビジネス交流会

April

4月

### 両協会の会員企業がビジネス機会を模索

4月23日、東京の市ヶ谷健保会館とZoomウェビナーのハイブリッド形式で、IT業界の企業間連携の機会を創出するアライアンスビジネス交流会を、ソフトウェア協会(SAJ)と共同で開催し、42の企業・団体から61名が参加した。

両協会の会員4社が自社の製品・サービスに関するプレゼンテーションを実施。ROBONは必要なデータを素早く発見するためのメタデータ管理サービス「Mashu」、ソースネクストは外国語でのWeb会議などを日本語化するAI同時通訳サービス「ポケットーク ライブ通訳」、クリューグルはIT部門やSlerのソフトウェア開発・運用を支援するAIプラットフォーム「Krugle」、CASOは複数のモバイル回線を利用して安定した接続が可能なIoT向け通信機器「Peplinkマルチ回線ルーター」を紹介した。

交流会は今年度もJCSSA・SAJ共催で複数回の開催を予定している。



終了後には懇親会も開催

## 第1回新会員歓迎懇親会

April

4月

### 新会員17社から34名が参加

4月24日、東京・飯田橋の大塚商会本社内の「大塚倶楽部」にて、2023年9月～11月入会の新会員を招き、協会幹部との交流を深めていただく懇親の機会を設けた。新会員17社34名、協会幹部57名の合計72名が参加した。昨年度は多くの方々に入会いただいたので、今年度は3回に分けて開催する予定。



昨年秋入会の会員を歓迎

## 第4回中部交流会

May

5月

### 北陸の地で会員間の親交を深める



中部の会員間の連携を促進

5月30日、第4回中部交流会を実施した。今回は能登半島地震復興支援を目的として、石川県金沢市のアイ・オー・データ機器で開催し、11社20名に参加いただいた。

窪田大介専務理事が開会挨拶を行い、その後、小山敏之事務局長から今年度の活動内容について説明。続いて各参加企業が近況報告を行い、最後にアイ・オー・データ機器代表取締役会長の細野昭雄氏より閉会の挨拶をいただいた。

懇親会では、ブラザー販売代表取締役社長の安井宏一氏の乾杯の音頭で開宴。北陸の日本酒と料理を楽しみながら情報交換を行う貴重な時間となった。最後はVAIO名古屋オフィス長の高垣圭氏の中締めで終了。

翌日は小松市のゴルフクラブ ツインフィールズでゴルフ交流会を開催、グリーンミーティングを通じて交流を深めた。地域社会への貢献とともに、参加企業間の連携強化に寄与した有意義な場となった。

## 2024年度JCSSA管理職研修(前半)

May

5月

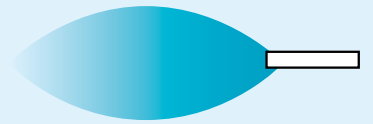
### 意識を改革し、成長が図れる評価者を育成

5月17日、例年好評をいただいている管理職研修の「期初・期中編」を、会員企業の管理職および管理職候補を対象に実施した。講師は、キャリア開発や人材育成サービスを提供するブレイフルキャリア研究所の代表で、キャリア開発コンサルタントを務める五十嵐郁一氏。

ケース演習やロールプレイングが中心の実践的な研修。受講者からは「同じ業界・立場の方々に参加しており、課題認識や判断基準に共通点が多いため、グループワークでは得られるものが多かった」「今まで自己流で行っていたが、体系的に説明を聞いたことが良かった」などの声が聞かれ、満足度は非常に高かった。



目標管理の重要生を学ぶ



## セキュリティ脅威の最新動向を

## 会員企業の識者が解説

JCSSAのセキュリティ委員会は、昨年12月に続くオンラインセミナーの第2弾として、5月15日に「セキュリティエバンジェリストパネルディスカッション」を開催した。セキュリティ関連ソリューションを提供する会員企業から4人の識者が集まり、セキュリティ対策のトレンドや、最新の脅威動向などを解説した。



エムオーテックス  
取締役兼 CISO  
中本琢也 氏



SB C & S  
セキュリティエバンジェリスト  
竹石 渡 氏



パロアルトネットワークス  
チーフサイバーセキュリティ  
ストラテジスト  
染谷征良 氏



トレンドマイクロ  
執行役員  
飯田朝洋 氏

### 複雑になるセキュリティを AIで効率化する取り組みに注目

セミナーでは始めに、5月に米国で開催された業界最大級のセキュリティカンファレンス「RSA Conference 2024」の様子をレポート。その中で、エムオーテックスで取締役兼 CISO（最高情報セキュリティ責任者）を務める中本琢也氏は、年間で最も革新的なサイバーセキュリティのスタートアップを決めるコンテスト「Innovation Sandbox」で、ディープフェイク（AIによる偽の画像や音声）検知製品を手掛ける米 Reality Defender が1位を獲得したことを紹介した。

中本氏は「昨年はWeb3やセキュア開発がトレンドだったのに対して、今年はクラウド領域でのIAM（Identity and Access Management）、生成AI、SOC（Security Operation Center）のクラウド拡大／自動化などが注目されており、トレンドが大きく変わっている」と分析。展示ブースでも、セキュリティにおけるAI活用を訴求する企業が多かったという。SB C & Sでセキュリティエバンジェリストとして活動する竹石渡氏は「AIをいかに使うか。そしてAIを使った攻撃者にどのように対抗するかが一つのキーワードになっている」と傾向を述べた。

パロアルトネットワークスでチーフサイバーセキュリティストラテジストを務める染谷征良氏は、アラート対応の効率化や、セキュリティ事故への対応の自動化などを目指しAIへの投資を検討する企業が増えつつあるとし、「これまでアラートばかり見て疲弊してしまっているエンジニアを、もっとモチベーションが上がるような業務に充てようとの動きが出始めている」と述べた。

### VPNの脆弱性悪用が増加 新たな認証技術への期待高まる

企業のセキュリティ投資の変化について染谷氏は、一つの企業が利用するセキュリティ製品の数が増加していることを指摘。結果として、場所によってセキュリティレベルに差が生まれる、運用負荷が増大するなどの課題が出てきたことから、複数のセキュリティ製品を単一のベンダーに統合していく動きが出てきているという。

最新の脅威動向としては、ランサムウェア攻撃による被害が高止まりしていることや、攻撃者が侵入してから情報を窃取するまでの時間が短縮されているなどの傾向を解説。トレンドマイクロの執行役員でサイバーセキュリティ・イノベーション研究所長の飯田朝洋氏は、IDとパスワードを悪用され、VPNやクラウドサービスに不正侵入される被害が増加傾向にあるとし、「何十年と、IDとパスワードでセキュリティを守ってきたが、そろそろ破綻しつつあると思う。ベンダー各社が知恵を絞り、ソリューションを出していかなければいけない」と訴えた。また、ディープフェイクの悪用にも言及。香港では、企業CFOのディープフェイクを作成して、従業員をだまし約38億円を振り込ませる事件があったと紹介した。

JCSSAのセキュリティ委員会では、サービス販売時のガイダンスづくりのほか、会員企業のセキュリティ状況についてのアンケート調査の実施、SaaSに関するセキュリティガイダンスの作成、セミナー開催などの活動をしている。溝口泰雄委員長（SB C & S 会長）は、「皆さんの日々の販売にお役立ちできるように今年も努めていく」と意気込んだ。

# サマーセミナー

## 人間とコンピュータの融合 ～自分はどこまで自分なのか～



ソニーコンピュータサイエンス研究所  
Cybernetic Humanity  
プロジェクトリーダー 笠原俊一 氏

JCSSAは6月11日、総会にあわせて実施している「サマーセミナー」と懇親会を帝国ホテル東京で開催した。セミナーでは、ソニーコンピュータサイエンス研究所 Cybernetic Humanity プロジェクトリーダーの笠原俊一氏に「人間とコンピュータの融合～自分はどこまで自分なのか～」と題して講演いただいた。セミナー終了後の懇親会では、新任理事7名の紹介などがあり、全国各地から参加した大勢の会員が交流を深めた。

### テクノロジーで限界を超える

笠原氏は、まず人間とコンピュータインターフェースの関係に触れ「これまでのインターフェースは、マウスやキーボードのような、人間とコンピュータの間にあるものが挙げられる」とし、人間がコンピュータを使う場合は「道具を使って行為をするイメージだ」と説いた。

とはいえ、使う側の人間の能力には限界がある。笠原氏は、胸元ほどの高さから落としたペンを手でつかんでもらう実験を会場で実施した。笠原氏によると、人間は、目でペンが落ちたことを認知し、手を動かすための信号を脳から届けてつかもうとする。しかし、ペンの落下速度は、人間が信号を伝達するまでの時間より速いため、一般的にペンをつかむのは難しいという。

では、限界を超え、ペンをつかむためにはどうすればいいか。笠原氏は、一つ的手段としてテクノロジーの活用を挙げ、ペンを落とす人の筋肉の動きを読み取り、つかむ人の腕に微弱な電気刺激を与えて筋肉を動かす装置を紹介。最初はペンを落とし、2回目につかめる様子が映った動画を会場で流した。

笠原氏は「多くの人は自分で（ペンをつかむ動作を）やったとの感覚を持っており、電気刺激で体が動かされたと感じるまでに時間幅があった」とし、「コンピュータと人間が融合する際は、そういった特性を理解することで、自分が自分であることや、自分でやっていることをより自覚できるようになる」と語った。その上で、今後コンピュータと人間の融合を考えるにあたっては「いかに人間を主体とした設計を保てるかが重要になる」と強調した。

### 進歩と進化を止めないために

笠原氏は、進歩が著しいAI技術の活用についても言及した。画像の合成によって自分の顔を変えていく事例では「顔を変えることは非常に恐ろしいことだし、アイデンティティの侵害も懸念される」と指摘しつつ、一方で「顔の近似性によってコミュニケーションを活性化させることが可能なのではないか」と持論を展開。テクノロジー

を活用する際には、いかに上手に使うかを考えることも大切だと呼びかけた。

笠原氏は「テクノロジーの進化は圧倒的に速いが、現時点では人間性に関する議論が追いついておらず、今までの考え方では、テクノロジーの進歩や人間の進化をわれわれが止めてしまうかもしれない」と主張。テクノロジーと人間が融合し、さまざまな可能性を広げるためには「テクノロジーを取り込んだ人間の再定義について、研究や社会で取り組んでいかなければならない」と締めくくった。



### 「いい値上げ」をつくりあげる

林 宗治 会長



同日の定時総会では、会員のみなさまのご協力により議事は滞りなく承認された。懇親会では、再任した林宗治会長が「エンドユーザーが泣く泣くお金を払う『悪い値上げ』ではなく、エンドユーザーに納得してもらえる『いい値上げ』を業界内につくりあげたい」と意気込みを語った。

林会長は、メーカー主導による値上げではなく、エンドユーザーの課題に貢献した上での値上げを実現するべきとし、委員会活動などを通じて「JCSSAの価値を上げて、皆さんに使ってもらえる団体にしたい」と話した。

懇親会では、経済産業省商務情報政策局情報産業課ソフトウェア・情報サービス戦略室長の渡辺琢也氏から来賓あいさつをいただいた。新たに承認された理事7名を紹介した後、日本AMD代表取締役社長のジョン・ロボトム氏による乾杯の音頭で開宴。参加者同士で近況報告などを行い、会場は大いに盛り上がった。

定時総会議案書  
[https://www.jcssa.or.jp/about\\_index/about\\_public/](https://www.jcssa.or.jp/about_index/about_public/)

役員名簿  
[https://www.jcssa.or.jp/about\\_index/about\\_list/](https://www.jcssa.or.jp/about_index/about_list/)



# New Member!

月別社名五十音順

お役職 / お名前：協会代表者役職名 / 協会代表者 氏名

April

4月


 **アスノシステム株式会社**  
正会員 <https://asno-sys.co.jp/>  
代表取締役社長 齋藤 武育

 **株式会社インテリジェントクラウドコンサルティング**  
正会員 <https://www.icc-inc.co.jp/>  
代表取締役社長 CEO 溝道 修司

 **株式会社エイティワントレード**  
正会員 <https://www.81trade.co.jp/>  
代表取締役 井上 直樹

 **サンニン株式会社**  
正会員 <https://sunnin.jp/>  
代表取締役 東 正展

 **株式会社新進商会**  
正会員 <https://www.ssnet.co.jp/>  
執行役員 副本部長 槇島 充彦

 **テックワンジャパン株式会社**  
正会員 (現在作成中)  
代表取締役社長 田村 幸広

 **トナミシステムソリューションズ株式会社**  
正会員 <https://www.tonami-syssol.co.jp/>  
代表取締役社長 小野 隆夫

 **株式会社ヴァル研究所**  
正会員 <https://www.val.co.jp/>  
代表取締役 菊池 宗史

 **株式会社ライオン事務器**  
正会員 <https://www.lion-jimuki.co.jp/>  
取締役上席常務取締役 茶谷 英二

 **株式会社エイチ・アイ・エス**  
賛助会員 <https://www.his-j.com/corp/>  
アカウントマネージャー 矢野 水奈子

 **株式会社ディー・オー・エス**  
賛助会員 <https://www.dos-osaka.co.jp/>  
営業企画部 部長 篠原 敬

 **Broaders 株式会社**  
賛助会員 <https://www.blackboxsuite.com/>  
事業統括部 部長 田口 孝貴

May

5月

 **株式会社アリス**  
正会員 <https://www.aris-kk.co.jp/>  
プロダクト事業部長 石形 博

 **ATEN ジャパン株式会社**  
正会員 <https://www.aten.com/jp/ja/>  
取締役専務 Jovi Chan

 **xFusion 技術日本株式会社**  
正会員 <https://www.xfusion.com/jp/>  
パートナービジネス開発本部長 孫 其中

 **日本フォーシーエス株式会社**  
正会員 <https://www.forcs.com/jp/>  
代表取締役社長 梁 泰植

 **合同会社ヒューミック**  
正会員 <https://humic.qwc.jp/>  
最高経営責任者 CEO 福山 孝広

 **台湾貿易センター**  
賛助会員 <https://tokyo.taiwantrade.com/>  
東京事務所 プロダクトマネージャー 林 冠芝

 **一般社団法人日本テレワーク協会**  
賛助会員 <https://japan-telework.or.jp/>  
専務理事 奥 敬祐

 **株式会社 PR TIMES**  
賛助会員 <https://prtimes.co.jp/>  
執行役員兼 Jooto 事業部長 山田 真輔

 **freee 株式会社**  
賛助会員 <https://corp.freee.co.jp/>  
CBO 渡邊 俊

June

6月

 **株式会社イノベーターワン**  
正会員 <https://www.innovator-one.com/>  
代表取締役社長 久保島 力

 **株式会社エヌ・アンド・アイ・システムズ**  
正会員 <https://www.nandis.jp/>  
常務取締役 COO 福井 敏文

 **一般社団法人日本個人情報管理協会**  
賛助会員 <https://japico.or.jp/>  
代表理事 理事長 内山 和久

# JCSSA

INFORMATION

## JCSSAのイベント

July

7月

### アジアIT企業視察ツアー

日時 7月3日(水)～6日(土)

場所 台湾

### SAJ × JCSSA 共催 第158回アライアンスビジネス交流会

詳細・お申込み

<https://www.saj.or.jp/NEWS/activity/ab/240709.html>

日時 7月9日(火) 15:30-17:00  
(懇親会 17:00-19:00)

場所 ハイブリッド開催

市ヶ谷健保会館  
東京都新宿区市谷仲之町 4-39  
Zoom ウェビナー

### 第2回新会員歓迎懇親会

詳細・お申込み

新会員(2023年12月～2024年4月対象)にご案内

日時 7月19日(金) 18:00-20:00

場所

日本ビジネスシステムズ本社 Lucy's TOKYO  
東京都港区虎ノ門 2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー

### SAJ × JCSSA 共催 真夏の大会

詳細・お申込み

[https://www.saj.or.jp/NEWS/activity/ab/seminar\\_240723.html](https://www.saj.or.jp/NEWS/activity/ab/seminar_240723.html)

日時 7月23日(火) 13:00-17:00

場所 ハイブリッド開催

ダイワボウ情報システム東京支社  
東京都品川区大井 1-20-10 住友大井町ビル南館  
Zoom ウェビナー

August

8月

### 交流促進セミナー

日時 8月20日(火) 10:00-11:00

場所 Web開催

### 第1回 New Normal AI Business (NNAB)

詳細・お申込み

<https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202407100001>

日時 8月20日(火) 14:00-15:00

場所 Web開催

### 第1回クラウド勉強会

詳細・お申込み

<https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202407120001>

日時 8月21日(水) 13:00-14:00

場所 Web開催

### 第1回クラウド販売会議

詳細・お申込み

<https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202407090001>

日時 8月21日(水) 14:10-15:10

場所 Web開催

### 人事総務情報交換会

詳細・お申込み

<https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202407160001>

日時 8月23日(金) 13:55-18:30

場所

市ヶ谷健保会館  
東京都新宿区市谷仲之町 4-39

September

9月

### 第1回情報システム取引者育成プログラム基礎講座

日時 前半 9月6日(金) 14:00-15:00  
後半 9月13日(金) 14:00-15:00

場所 Web開催

### SAJ × JCSSA 共催 第159回アライアンスビジネス交流会

日時 9月17日(火) 15:00-17:00

場所 ハイブリッド開催

市ヶ谷健保会館  
東京都新宿区市谷仲之町 4-39  
Zoom ウェビナー

### 第2回クラウド勉強会

日時 9月18日(水) 13:00-14:00

場所 Web開催

### 第2回クラウド販売会議

日時 9月18日(水) 14:00-15:00

場所 Web開催

### 9月定例セミナー

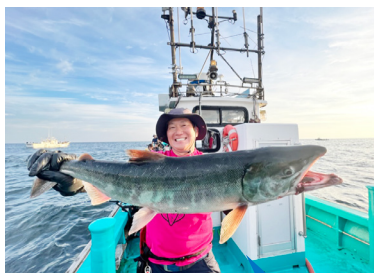
日時 9月20日(金) 16:00-17:00

場所 Web開催

# 理事の オフ ショット

吐噶喇。これをすぐ読める方は少ないでしょう。「トカラ」と読みます。吐噶喇列島は、屋久島などの大隅諸島と奄美大島などの奄美群島との間に位置する島嶼群で、南北160kmにわたる7つの島から形成されます。

実は、ここは巨大カンパチの



網走での鮭釣り。メスが釣れると自前でイクラが食べられます

## 遠征釣りの楽しみ

聖地です。もちろん飛行場は存在しないので、鹿児島県の指宿から船に乗り込み、約8時間かけて向かいます。そこはまさに楽土。考えられないような大物が次々にあがります。

なんでわざわざ釣りのためにそんな遠くまで行くのか。北は網走で鮭を釣り、南は宮古島でキハダマグロ。遠征釣りの国内旅行は毎回刺激であふれています。実は、地方の良い遊漁船は情報がWebに出ません。予約も常にいっぱい。しかし、全



トカラのカンパチ。これでもまだ小さい方らしいです

国に船長友達が増え、信頼関係ができると、紹介してもらえるときがあります。

情報産業に従事しながらも、デジタルにない未知の出会いに一喜一憂する。これこそが私の大好きな遠征釣りです。

## JCSSA 事務所のご案内

〒100-6208  
東京都千代田区丸の内 1-11-1  
パシフィックセンチュリープレイス  
丸の内 (受付13階)  
TEL:03-6860-8254



JR「東京駅」京葉線連絡 徒歩4分  
JR「東京駅」八重洲南口 徒歩5分  
東京メトロ銀座線「京橋駅」徒歩5分